



第3期鳥取市環境基本計画とは？

鳥取市の環境に関する長期的な計画です

■計画の役割

本計画は、市勢振興の基本的方向を示す上位計画である「鳥取市総合計画」を環境面から総合的かつ計画的に推進する分野別計画です。

本計画の推進により、本市の自然環境、生活環境、都市環境を守り育て、地球環境への負荷を最小限に抑えることを目的とします。

本計画では、地球温暖化対策に対し積極的かつ効率的に取り組むため、「鳥取市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を内包します。

■計画の主体

本計画を推進する主体は、「市民」、「事業者」、「市」です。これらの各主体は、それぞれの役割を認識し、一体となって、より良い環境を作っていくことが求められます。

■計画の期間

本計画の計画期間は、令和3（2021）年度から令和12（2030）年度までの10年間とします。



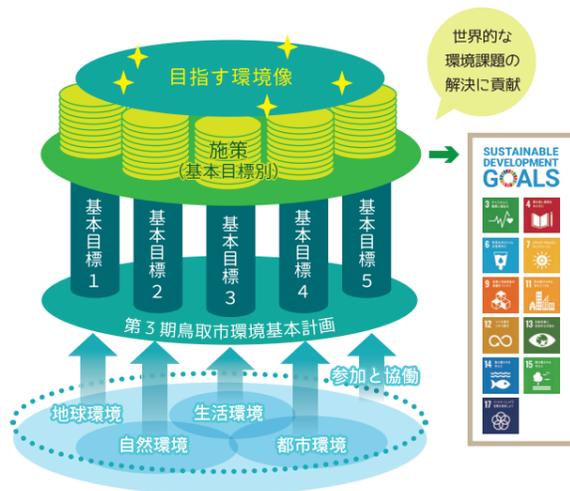
計画で定めること

鳥取市が目指す姿とその道筋を定めます

本計画では、長期的な目標として、将来の本市の目指す環境像を定め、この実現に向けた基本目標と、目標ごとの施策の方向性を設定します。

基本目標は、計画の対象範囲である「地球環境」、「自然環境」、「生活環境」、「都市環境」及び「参加と協働」の区分を踏まえて設定します。

また、本計画で掲げる環境施策は、SDGsの環境に関するターゲットの達成を見据えながら展開します。



計画の進め方

PDCAサイクルに基づき進めます

本計画の推進においては、PDCAサイクルに基づく点検・評価や見直しを行い、計画の継続的な改善を図ります。



計画の目標

目指す環境像と目標を設定します

■鳥取市が目指す環境像

豊かな自然と快適な暮らしが調和した持続可能なまち鳥取市

■目標

基本目標1：地球にやさしい脱炭素をめざしたまちづくり

市民や事業者の再生可能エネルギー利用や省エネの取組により、脱炭素型社会を実現します。また、気候変動の影響による環境対策や災害への備えを進めます。



基本目標2：資源を大切にする循環型まちづくり

ごみの減量に向けて、リフューズ（いらぬものは断る）・リデュース（ごみを出さない）・リユース（繰り返し使う）・リサイクル（再資源として利用）の4R運動を定着させます。また、ごみの分別や再資源化、ごみの適正な処理を推進し、循環型の暮らしを構築します。



基本目標3：誇れる自然と共生するまちづくり

本市の豊かな緑や多様な生物の生息・生育環境を保全し、人と自然の共生を進めます。また、自然とふれあう環境学習や体験等を通じて、自然を大切にする心を育みます。



基本目標4：安全・安心で快適に暮らせるまちづくり

大気汚染や騒音・振動等の公害の発生を防止し、誰もが健康で快適に生活できる環境を確保します。また、本市の美しい景観や歴史・文化を守り継ぎます。



基本目標5：みんなでふるさとを引き継ぐまちづくり

多様な活動団体や研究機関等と連携した環境学習・教育により、市民一人ひとりが本市の環境を愛する心を育みます。また、次世代を担う人材を育てます。





施策の内容

5つの目標に向かって、様々な施策を展開します

関連するSDGs



基本目標1：地球にやさしい脱炭素をめざしたまちづくり ＜鳥取市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）＞

2050年脱炭素社会（ゼロカーボンシティ）の実現に向けて

本市は、2021年2月に、2050年までに温室効果ガスの実質排出量をゼロにする脱炭素社会（ゼロカーボンシティ）の実現を目指すことを表明しました。本計画を通じて脱炭素社会の実現に向けた取組を着実に進めていきます。

1. 再生可能エネルギーなどの利用促進

太陽光発電システム等の発電設備の設置促進や導入検討、環境ビジネス等への創出支援を行います。



鳥取市青谷町いかり原太陽光発電施設

2. 省エネルギーの推進

市民・事業者の省エネ活動の促進や環境にやさしい移動手段の導入・普及を進めます。



新庁舎外観（エコスマート庁舎）

3. 脱炭素なまちづくりの推進

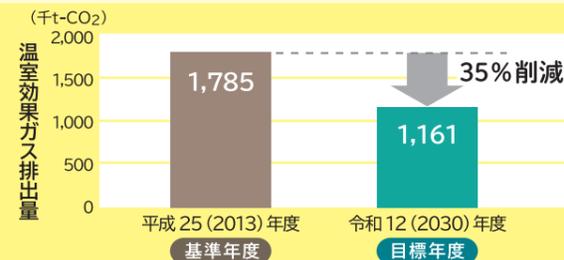
持続可能な多極ネットワーク型コンパクトシティの実現に向けた必要な施策や環境にやさしい省エネ交通システムの普及を図ります。

4. 気候変動の影響に対する適応策の推進

災害リスクを考慮したまちづくりや、熱中症の予防法の普及啓発等、気候変動の影響に対する適応策を推進します。

◆温室効果ガス排出量の削減目標

2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」の実現を見据えた水準の削減目標として「令和12(2030)年度における温室効果ガス排出量を、平成25(2013)年度比で35%削減」を掲げます。



基本目標2：資源を大切に作る循環型まちづくり

1. ごみの発生・排出抑制

市民に向けて、リフューズ、リデュース、リユースに係る活動を継続的に推進し、ごみの発生を抑制していきます。

2. リサイクルや再利用の促進

ごみの分別を徹底するなど、市民・事業者・市の協働によりリサイクルを推進し、集団資源回収を拡大して推進します。



ステーション回収の様子

3. 廃棄物の適正処理の推進

市内で出された廃棄物を適正に処理するため、ごみの分別排出の徹底を図るほか、不法投棄をなくす取組等を積極的に進めます。



不法投棄監視の様子

基本目標3：誇れる自然と共生するまちづくり

1. 山林・農地の保全

市域面積の大半を占める森林を適切に整備するため、間伐や植林管理を進めるほか、農地・農業用施設等の計画的な改修等を推進します。

2. 生物多様性の確保

雑木林や水辺など野生生物の生息・生育環境を適切に保全するとともに、外来生物の生息・生育状況を把握し、生態系等への影響を低減するための対策を推進します。



湖山池ナチュラルガーデン



鳥取市の保存樹木（安長堤防林）

3. 自然とのふれあいの確保

山陰海岸ジオパーク等、市内に多く存在する自然とのふれあいの場を適切に整備し、将来へ継承していきます。さらに、市街地住民と中山間地域住民との交流を促進するなど、自然とふれあう機会を創出します。

基本目標4：安全・安心で快適に暮らせるまちづくり

1. 良好な生活環境の確保

大気、水質、土壌を保全するとともに、騒音、振動、悪臭等に悩まされることのない生活環境を確保します。



鳥取砂丘

2. 美しいまちなみの確保

官民協働による一斉清掃やボランティア除草等による鳥取砂丘の美しい景観の保全や、貴重な文化財を保存・継承・活用することで、自然景観や歴史的な景観の保全を図ります。



湖山池アダプトプログラムの様子

3. 環境に配慮したまちづくりの推進

公共交通の利便性向上を図るとともに自転車の利用環境の整備を進めます。さらに、官民が一体となった中心市街地の再生への取組を進めます。

基本目標5：みんなでふるさとを引き継ぐまちづくり

1. 環境学習・教育の充実

自然や文化の体験活動等を通して環境について学ぶ場や機会を提供するとともに、環境教育や環境学習を実践する人材の育成に努めます。

2. 環境情報の効果的な提供

市民の環境意識の向上や環境保全活動の充実を図るため、環境に関するあらゆる情報を収集し、市民に公表し共有化を図ります。

3. 参加と協働の推進・活性化

自治会や市民活動団体等の環境保全活動に取り組むための支援を行います。また、広域連携の取組により、持続可能で魅力ある「因幡・但馬麒麟のまち連携中核都市圏」の発展に取り組めます。



段ボールコンポスト講習会の様子



兵庫県香美町が令和2年3月に圏域に参画



重点プロジェクト

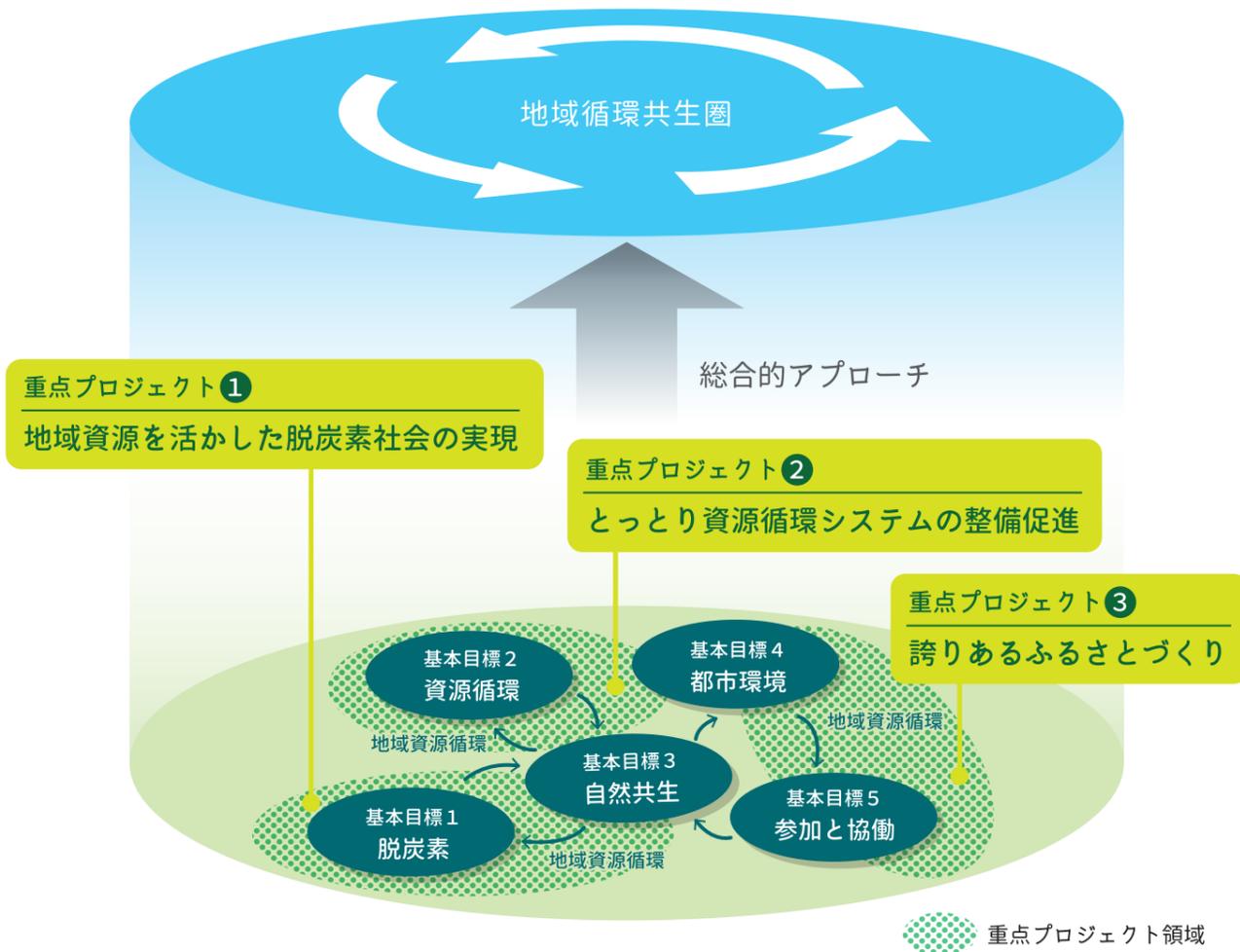
3つの取組を重点的に進めていきます

重点プロジェクトの位置づけ

本市が目指す環境像を実現するために、全庁的な推進体制のもとで優先的に取り組んでいくべき主要な施策・事業を重点プロジェクトとして位置づけます。

設定の視点

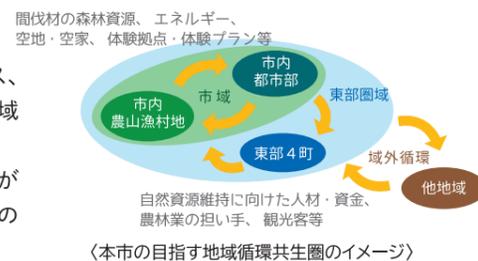
- 鳥取市版「地域循環共生圏」を具現化する
- 異なる分野へ相乗的な効果を発揮する
- 確実かつ早期に実施する
- 地域の環境・社会・経済にも貢献する



地域循環共生圏とは

「地域循環共生圏」とは、各地域が有する自然資源、生態系サービス、資金・人材等を活かして自立・分散型の社会を形成しながらも、地域の特性に応じて地域資源を補完し支え合う考え方のことです。

環境への取組にとどまらず、多様な課題の同時解決に繋がることが想定されるものであり、環境・社会・経済の統合的向上や「SDGs」の達成に貢献することが期待されます。



重点プロジェクト①

地域資源を活かした脱炭素社会の実現

再生可能エネルギーの導入拡大と、それらの活用によるエネルギーの地産地消に取り組みます。同時に、市域内の連携による持続可能な森林管理を進めることでカーボンオフセットを行い、木材等の地域資源の循環利用に寄与します。

<取組例>

- エネルギーの地産地消促進
- 太陽光発電システムをはじめとする再生可能エネルギー設備の設置促進
- 間伐や適切な植林管理等森林整備の促進

重点プロジェクト②

とっとり資源循環システムの整備促進

市民・事業者・市が一体となって、廃棄物の排出抑制、再利用の促進、ごみを少なくする習慣やシステムづくりをはじめ、ライフサイクルにわたる包括的な対策により、多様な生活環境における資源循環システムを整備します。

また、空家・空家を適正に管理・活用するとともに、環境との調和のとれた循環型農業等、持続性の高い農業生産活動により環境負荷の低減を目指します。

<取組例>

- 家庭における生ごみの堆肥化の普及推進
- 畜産農家と稲作農家の連携による堆肥利用や飼料生産を一貫して行う循環型農業の促進
- 空地・空家の適正管理の推進

重点プロジェクト③

誇りあるふるさとづくり

市民に郷土（ふるさと）に誇りを持ってもらえるよう、また、本市を訪れる観光客等に魅力を感じてもらえるよう、豊かな自然や魅力ある歴史・文化等地域資源の活用や農業体験、イベント、物産販売等を通じた、自信と誇りに満ちた活力のある地域づくりを推進します。

<取組例>

- 農山村の地域資源を活かしたグリーンツーリズムの推進
- 中山間地域住民との交流促進
- 貴重な自然とのふれあいの場の保全
- 農産物生産の体験機会の設置
- 自然や文化に直接ふれる体験活動の実施
- 鳥取砂丘の景観の保全